さくら咲き　心地よいまち　ずっと　めぐろ

MEGURO

— めぐろ区報 —

1/15

令和4年（2022年）
No.2127

C 小さなことから S 相談受けます W 私たちへ

特集 CSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目）を前倒しして実施します

問新型コロナワクチン接種コールセンター
（☎0120－102－654、FAX5722－7048）

65歳以上のかたの新型コロナワクチン接種の間隔を、8カ月から7カ月へ短縮し、前倒しして進めます。

3年6／10までに2回目接種を終えたかたには、1／13に接種券を発送しました。また、3年6／30までに2回目接種を終えたかたには、1月中に接種券が届くように発送します。

接種券が届いたら、LINEまたは電話でご予約ください。

LINE予約は、家族など本人以外のスマートフォンからも予約できます。

詳細は区ホームページ（**コード❶**）をご覧ください。

❶

1／22に、臨時特別給付金などをお知らせするコロナ臨時号を発行予定です（区内の全戸に配布）。1／24を過ぎても届かない場合は、シルバー人材センター（☎3793－0181、FAX3793－0588）へご連絡ください。

発行／目黒区　**編集**／広報課　〒153－8573 目黒区上目黒2－19－15　☎3715－1111（代）　FAX5722－8674（広報課）
毎月2回（1・15日）発行　**区ホームページ**　https://www.city.meguro.tokyo.jp/

区ホームページ

区公式YouTubeチャンネル めぐろTV

特集

CSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）

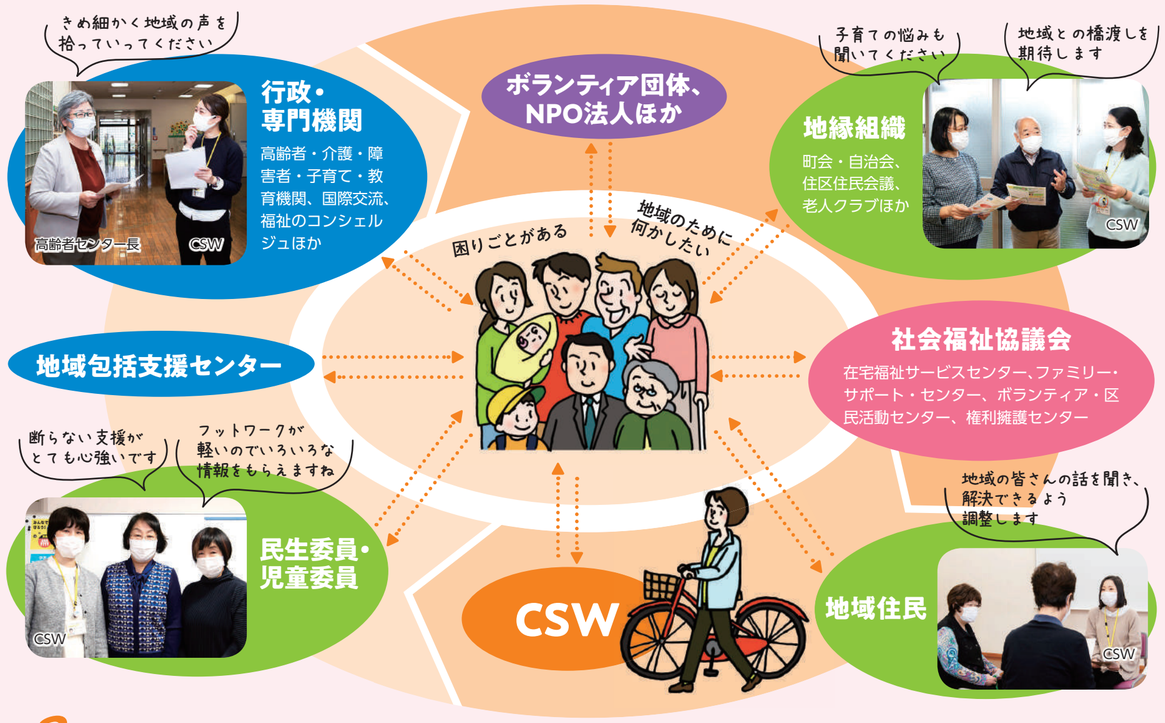
コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）は、地域の皆さんの相談を聞き、さまざまな関係機関などにつなぐ調整役として、3年4月に誕生しました。高齢者、子ども、障害、生活困窮等の日常生活の困りごとの解決や地域活動への参加支援などを、地域のかたや関係機関と協力しながら取り組んでいます。気になることや気付いたことを気軽にCSWへ相談してください。

地域の皆さんに寄り添い、つなぐ

問健康福祉計画課地域福祉推進係（☎5722－7062、FAX5722－9347）

1 このような活動をしています

CSWは、行政・専門機関、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、町会・自治会、住区住民会議、ボランティア団体、NPO法人、社会福祉協議会などと一緒に、住民が目指す地域共生社会づくりを支えていきます。



2 CSWは皆さんの近くにいます。まずは話を聞かせてください

CSWへの相談は目黒区社会福祉協議会へ

電話 5708－5792　FAX 3711－4954　来所 上目黒2－19－15　総合庁舎別館3階

地域で何かしてみたい！

- 退職後に地域のために何かしたい
- 特技や資格を生かしたい
- 何から始めればいいのか分からない

地域の情報を知りたい

- 引っ越してきたばかりで区のことをよく知らない
- 仕事ばかりしてきて地元のことが分からない

近所に知り合いがほしい

- ひとり暮らしで頼れる人が近くにいないので不安
- 友達がいない、いつも独りの食事は寂しい

近所の人が心配

- 隣の人がひきこもっているようで気になる
- 日本語が話せない外国籍のかたがごみの出し方で困っている

子育ての悩みを相談したい

- ひとり親家庭なので、子育てのサポートをしてほしい

誰かに相談したい

- どこに行ったらいいか分からない
- 話を聞いてほしい

3 私たちがCSWです

区内5地区にCSWがいます。気軽に声を掛けてください。

北部地区　堀田さん

「そこまで困っていない」困りごとを見つけ出す

相談内容が多岐にわたるので、知識と経験が求められます。CSWは、課題の解決を制度に求めるのではなく、地域のつながりの中で解決していくためのお手伝いをする仕事です。地域の中には自分の困りごとに気付いていない人や、相談の声を出せない人がたくさんいると感じています。「そこまで困っていない」くらいの困りごとまで見つけ出せたらうれしいです。即解決とはいかないまでも、一緒に考えサポートします。まずは、CSWを知っていただけるように広報していきます。

東部地区　鈴木さん

皆さんの声や活動報告が励みになっています

CSWとして最初に受けた相談は、「リタイア後、地域活動をしたいがどうすればいいか」というものでした。相談されたかたは長年勤務されてきたので、地域のことや地域活動をあまりご存じありませんでした。区内の活動を紹介すると、すぐに行動に移され、今は活発に活動されています。ときどき送ってくださる近況報告は、私の励みになっています。CSWの1日は、打ち合わせに始まり、訪問や電話を通じて相談を受けています。今後も地域の方々の声を聞くことを心掛けていきます。

中央地区　大熊さん

一つ一つ誠意をもって対応していきます

特別養護老人ホームや地域包括支援センターで、主に高齢者福祉の仕事をしてきました。いろいろなかたにお会いして、話を聞くところから始めています。この人に相談すれば安心につながると思ってもらえるCSWになることが当面の目標です。この地区は、お祭りなどで地域のつながりが強いと感じています。CSWが地縁組織や事業所、相談機関などとつながり、一緒に問題を解決する仲間を増やし、その力を借りながら、一つ一つ誠意をもって対応していきたいです。

南部地区　飯田さん

CSWにとって聞くことは最も大切な仕事

認知症高齢者のデイケア、障害者の通所施設、児童発達支援センターに勤め、4月（3年）からCSWになりました。これまでの経歴とはまったく違う仕事で、まずは地域を知るために道を覚えるところから始めました。民生委員さんや町会長さんとつながりができたことや、地域の子どもたちと触れ合えたことは、新しくてうれしいことです。CSWにとって聞くことは、最も大切な仕事だと思います。気になることがあるとき、真っ先に相談しようと思っていただけるCSWを目指していきます。

西部地区　岡田さん

CSWの活動は、地域の理解と協力があってこそ

CSWは生活支援コーディネーター（※）を兼務しています。CSWの活動が加わったことで、高齢者以外の困りごとにも対応できるようになり、より動きやすくなったと感じています。これまでに、近隣関係や認知症など、多岐にわたる相談を受けました。問題が複雑に絡み合っていることが多いので、焦らず丁寧にお話を聞いて思いに寄り添うよう心掛けています。CSWにとって、地域の方々の気付きや関係機関などの理解と協力が何よりも大切だと感じています。

※地域で高齢者の生活支援や介護予防をサポートする専門職

「ささえあいレポート」を発行しています

地域を回りながら住民の皆さんから聞いたり、発見したりしたつながりや支え合いを紹介しています。目黒区社会福祉協議会で配布しているほか、同会HP（コード❶）でご覧になれます。